

# 高齢者の介護予防に eスポーツ導入

## 爲近准教授 美里町・熊日と共同で実証実験

UXプロジェクト成果報告イベント

医療、介護、健康、食、ビューティ、スマート農業などの、いわゆるライフサイエンス分野の様々な研究開発を行うUXプロジェクトの成果報告イベント「UX project DEMO DAY2024」が2月28日（水）、グランメッセ熊本で開催されました。本学からはリハビリテーション学科生活機能療法学専攻の爲近岳夫准教授が熊本日日新聞社、美里町と協力して取り組んだ「eスポーツを利用した高齢者における介護予防効果の実証実験」の成果を発表しました。

実験では、町の生涯学習講座を通じ日ごろからeスポーツに取り組んでいる高齢者に、ゲーム機を自宅に持ち帰ってもらい、4週間毎日、ゲーム（「ぷよぷよ」）をしてもらいました。実験期間の前後で握力とMCIスクリーニング検査（MOCA-J）の結果を比較し、効果を検証しました。その結果、握力やMOCA-Jの総得点、記憶力に改善傾向が見られました。また、地域で孤立しがちな高齢男性も参加しやすいため、健康維持だけでなく孤立予防にも期待が持てるという報告が行われました。

この日はこの他に、「県民の健康寿命を延

伸する新規医療サービス-最新の血液凝固検査で血栓症リスクを探知-」や「人吉市生活保護受給者における医療データ分析にもとづく医療費適正化に向けた実証」など、8つの成果が報告されました。

（入試・広報課）



グランメッセ熊本で行われた報告会で、実証実験の成果を発表する爲近准教授

## 研究費の適正な使用を 研修会通じ注意喚起

学術研究会議、不正使用防止計画推進室が共催する令和5年度研究費の適正使用に関する研修会が2月29日（木）、1300L講義室で開催され、研究費の不正使用について川口辰哉・学術研究部長（不正使用防止計画推進室室長）が注意を呼びかけました。

川口学術研究部長は、文部科学省による「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン改正」に対応した本学の取り組みや、これに伴う本学の研究費の取り扱いに関する変更点について説明。文部科学省の資料を基に「不正使用の傾向としては、旅費の支給手続きや学生への謝金・給与支払いに関する不正が多い」ことを紹介し、「不正が発生すると組織の信用を傷つけることにつながる」と警鐘を鳴らしました。

引き続き、濱本室長が内部監査室の業務・役割についても説明しました。（入試・広報課）



研究費の適正使用に関する研修会の会場

カメラを前に、動きやセリフなどを打ち合わせする学生たち



## 熊保の魅力 新入生に発信

### 学生スタッフ 広報紙、動画づくりに奮闘中

アカデミックスキル  
支援センター

レポート

新年度を前にアカデミックスキル支援センターでは、学生広報スタッフや学生指導員が、新入生に向けた広報紙や動画づくりの真っ最中です。1年次生を中心としたスタッフは「大学案内にはない熊保の魅力を、新入生に伝えたい」と意気込んでいます。

総勢16人の学生広報スタッフは、NEWSLETTER (NL) 班と動画班に分かれて活動中です。NL班は、入学式当日、新入生とその家族に配る「週刊NEWSLETTER新入生特別号」を担当。学科・専攻ごとに紙面を変える予定です。動画班は軽快なテンポの漫才、コントを通して自分たちのメッセージを伝えようとしています。メンバーたちは「大学の概要的なものでなく、自由な雰囲気伝えたい」と話していました。

一方、8人の学生指導員は、前期開講の「アカデミックスキルⅠ」で使用する動画を作成しています。作っているのは、リーダー学生募集を兼ねたアカデミックスキル支援センターの紹介と、経

験的にまとめた「アカデミックスキルⅠ」受講のコツの2種類のビデオです。2本とも台本や絵コンテを作成し、シーンごとに演技の手直しをしています。(NL編集部)



リーダー学生やアカデミックスキル支援センターを紹介する動画づくりに取り組む学生指導員たち

## 内部監査室の業務・役割を解説

### 事務職員向けSDセミナーで濱本室長

事務職員向けSDセミナーが2月22日(木)1300L講義室で開催され、濱本高義内部監査室長が「内部監査室の業務・役割について」と題して講演しました。

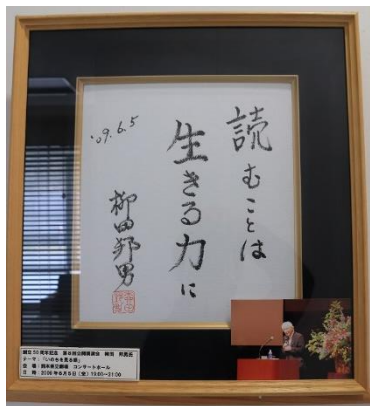
濱本室長によると、内部監査は、ガバナンス、リスクマネジメント、コントロール(内部統制)の有効性が「あるべき姿」と「現状」のギャップを埋めることで、「組織の健康診断」と言うことができます。

講演では、内部監査部門を「大学の永続的な維持・成長のために、大学運

営・業務のプロセスを第三者目線でチェック・評価し、その結果を提言・助言などをする部門」と紹介しました。その上で、大学の現場で抱えている課題・問題点を早期発見・早期改善するために「内部監査を含め普段からすべてを事実を正直に話し、またいつでも相談にきてほしい」と語り、「同じ教職員として皆さんと一緒に大学を改善していきましょう」と呼び掛けました。(入試・広報課)



## 「学生図書委員」制度を検討



図書館長の古閑です。この「図書館だより」では、図書館の様々な取組や図書の紹介等を随時掲載していきます。

現在、図書館もコロナ禍前の活気を取り戻し、多くの方に利用していただいています。今後は、更なる利用者増を目指して、「学生図書委員（仮称）」という新たな制度を検討しています。学生自らがスタッフの一員として、企画・提案し、運営にも関わるといったものです。今後内容が固まり次第、ご案内する予定です。

ところで、理事長室、学長室の前の廊下に、これまで本学で講演して頂いた著名な講師の方々の色紙が多数飾ってあります。その中にノンフィクション作家の柳田邦男氏の「読むことは生きる力に」というのがあります=写真。新年度に向けて「生きる力」をと考えている方は、ぜひ図書館にお立ち寄り下さい。（古閑陽一）

## 銀杏アラカルト

■情報セキュリティ研修会 情報保護委員会主催の情報セキュリティ研修会が1日（金）、Zoomオンラインで開催され、情報保護委員の山鹿敏臣講師（共通教育センター）が「当たり前のことを徹底する『凡事徹底』の精神で、情報セキュリティ意識を高めましょう」と呼びかけました。山鹿講師は、情報紛失漏洩インシデントの大半を宛先や添付の確認ミスが占めていると説明。宛先や添付の確認といった基本的なことに注意するよう訴え、誤送信防止アドインの追加や、アドレス帳、FAX番号リストの定期的な確認を促しました。

（入試・広報課）

■西日本短大附属高の1、2年生が来学 西日本短期大学附属高校（特進看護・医療進学コース）の1、2年生9人が2月22日（木）、来学しました。一行は入試・広報課の職員から大学の概要を聞いた後、アリーナ、図書館、就職・実習支援課、レストランなどを見学しました。その後、同校の卒業生でリハビリテーション学科理学療法学専攻4年の瀬藤璃音さんが同校の教員、生徒たちと交流しました。瀬藤さんは「恩師と4年ぶりに再会し、この大学を勧めてくれたことへの感謝を伝えることができてよかったです」と話していました。（入試・広報課）

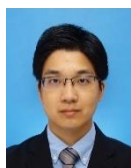


アリーナ内を見学する生徒たち

よろしくお願ひします！

新規採用教職員

（敬称略）



◆宮崎 宣丞（リハビリテーション学科理学療法学専攻助教）

はじめまして、佐賀県出身の宮崎です。鹿児島で理学療法士免許を取得し、主に高齢者や運動器の臨床や研究に携わってきました。本学の発展に貢献できるよう研鑽を続けて参ります。よろしくお願ひいたします。

◆藤本 真紀（入試・広報課）

3月1日より、入試・広報課に配属になりました。実は、熊保で働くのは、看護学科事務、入試・広報課事務、そして、入試・広報課事務と3度目です。ご縁をいただき、また皆様と働けることに感謝し熊保の発展のために頑張っていきたいと思ひます。

退職者

（敬称略）

◇木村 奈々（入試・広報課）3月11日付

週間行事予定（3月12日～18日）	
3 / 13（水）	第2回利益相反に関する研修会（16:15～ 1300L講義室）
3 / 15（金）	卒業式・修了式（10:30～ 市民会館シアーズホーム夢ホール）
3 / 16（土）	久しぶり、元気かい（会）（14:00～ レストラン・ピリア）
3 / 18（月）	水俣市・国保水俣市立医療センター・県立水俣高校との包括連携協定締結式（11:00～ 水俣市役所）